

北区産業活性化ビジョン2018（素案）に関するパブリックコメントの実施結果

1. パブリックコメントの概要

意見募集期間：平成29年12月11日（月）～平成30年1月15日（月）

意見提出者数：1名（内訳）区長へのはがき：1名

意見総数：2件

周知方法：北区ニュース12月10日号、北区ホームページ、産業振興課、区政資料室、地域振興室、区立図書館

2. 提出された意見の要旨とそれに対する区の考え方

No.	意見要旨	件数	区の考え方
1	行政が行う産業活性化について、行政からの支援期間が終了すると廃業してしまうケースが散見される。持続可能性を前提とした施策展開を望みます。	1	北区産業の活性化に向け、本ビジョンでは「北区産業の将来像」実現のための3つの戦略として、「将来を担う『人材と企業』の育成」「イノベーションを促す『交流と連携』の推進」「魅力ある『産業ブランド』の確立」を掲げており、事業者、区民、区の連携・協力による持続的かつ効果的な施策を展開してまいります。
2	商店街または個店の「まちのコンシェルジュ機能」の拡充を望みます。（区外の商店街・個店などの紹介や、来街者が気軽に訪れ話せる環境づくり）	1	商店街は、区民の身近な買い物等の場だけではなく、区民の安全・安心やコミュニティ形成の場として、重要な役割を担っていると考えています。 ご提案の「まちのコンシェルジュ機能の拡充」や「来街者等が気軽に訪れ話せる環境づくり」については、商店街の新たな魅力づくりを図るうえで、重要な要素のひとつであると考えています。 区としては、本ビジョンに基づき、商店街を構成する魅力ある個店づくりへの支援や区内にある多彩な観光資源との組合せなどによる新たな魅力づくりを推進することで、地域に不可欠な商店街の実現を図ってまいります。 いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。